

2026年2月吉日

一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会

会長 佐々木 寛（公印省略）

## 2025年度一般社団法人北海道精神保健福祉士協会 専門研修 二回目

# いまさら訊けない…

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

～精神保健福祉士の業務の延長上に「にも包括」の実現社会がある？！～

後援：函館市、函館市教育委員会

現在、日本は諸外国に例を見ぬスピードで高齢化が進行し、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想され、団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

厚生労働省は平成29年2月に「これから的精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書において、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（以下「にも包括」）に取り組むことを掲げました。またこうした変化の中、今般の精神保健福祉法改正において、都道府県及び市町村が実施する精神保健に関する相談支援について精神障害者だけでなく「精神保健に課題を抱える者」も対象とし、また「これらの者の心身の状態に応じた適切な支援の包括的な確保」を位置付けました。同じくして精神保健福祉士法も改正され、精神保健福祉士の定義（対象）も広がりました。

精神保健福祉士である私たちは、所属機関にかかわらず、目の前の実践が「にも包括」の推進に直結していることを日ごろから自覚する必要があると考えます。このたび、こうしたことを自覚しながら日々の実務に向き合っている方はもちろん、もしかしたら「実はまだよく…」という方まで、全国及び北海道の方針や各地の取り組み、そしてそこから見える私たち精神保健福祉士に期待される役割等について、いま一度改めて確認してみる機会を設けることとしました。

今回は専門研修初の試みとしてオンラインで札幌と函館の会場をつなぎ、講師にはオンラインでご講演いただきながら、それぞれの会場にいるシンポジストと意見交換して進行する予定です。ぜひとも多くの方にご参加いただければと考えています。

日時：2026年3月7日（土）13:30～18:10

開催方法：参集（会場2か所）とオンラインのハイブリッド開催

会場：札幌市産業振興センターセミナールーム1

函館市勤労者総合福祉センター（サン・リフレ函館）

対象：研修内容に興味のある方

参加費：1,000円（会員・学生・当事者）

2,500円（非会員）

研修内容：詳細は開催要領をご確認ください。

後援：函館市、函館市教育委員会



受講申込フォーム  
二次元コード



当協会ロゴマーク